

マリンサイエンス

7月9日(火)～12日(金)にかけて、鳳珠郡能登町字越坂ののと海洋ふれあいセンターと七尾高校において1年生理数科生徒を対象に「マリンサイエンス」を実施しました。この実習は、金沢大学の協力をいただき、能登半島の海の生物を体験的に学ぶことで、生物学についての知識を高め、自然を視る眼や科学的な視野を養うことを目的としているもので、毎年生徒に大変人気の高いものです。今年は梅雨の影響もあり、あいにくの天候でしたが、海の生物の採集や乗船実習を行うことができました。課題研究として海の生物について、班ごとにテーマを決めて研究を行いました。じっくりと観察し不思議を見つけ、実験を行ってその現象が起こる仕組みを考える。たった4日間の短い時間ですが、どのグループも集中して、それぞれに納得いく内容に仕上げました。最終日の発表では、最優秀賞に選ばれた2班に景品としてサクラ貝の標本が授与されました。また、他にも金沢大学の鈴木先生からは「動物の不思議」、浦田先生からは「ウニの発生」についての講義をしていただきました。残念ながら今年度は能登半島地震のため、宿泊を伴わない研修となりましたが、生徒たちは色々なことに互いに協力し合って積極的に取り組んでいました。

なお、発表会を能都中学校、松波中学校、七尾中学校、金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設の方たちもリモートで参観しました。



- 生物の構造や習性において、疑問から実験に行くまでの過程がすごく面白かった。今回のマリンサイエンスで生物への興味がまた高まった。
- マリンサイエンスを通して、生物に興味を持つことができました。生物それぞれにいろいろな個性があって、いろんな働きをしていることがわかりました。
- 貝の行動が気まぐれで実験中なかなか法則などを発見できなかったけど、何度も試行して考察までまとめられてよかったです。
- 図鑑や本で名前しか見たことがなかった生き物の実際の大きさや手触りなど想像していなかったことが連続し、とてもわくわくしながら実習を行うことができた。
- 海に行って生物を採集し、そこから調べる生物のテーマを決め、研究を行うのが非常に楽しかった。
- 条件を全て同じにして実験する大切さと大変さを知りました。

研究テーマ一覧

- ・バナメイエビってどんなエビ？
- ・はたらく海藻
- ・ホヤのホヤとしてない浄化能力
- ・ウミウシライド
- ・海の中の浄化王は誰だ!?
- ・カニの正体やいかニ・・・!?
- ・イシダタミのひみつをたたみかける
- ・どこに行くんかい？イシダタミガイ？

生徒の感想



最優秀賞



「はたらく海藻」



「イシダタミのひみつをたたみかける」

